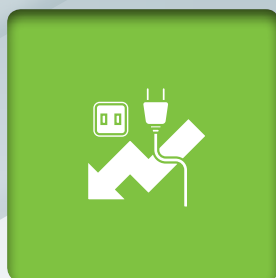
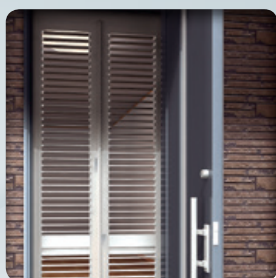




不二サッシ

窓から夢をひろげていきます



不二サッシグループ

CSR 報告書 2018



会社概要

商 号	不二サッシ株式会社 (FUJI SASH CO.,LTD.)
本社所在地	神奈川県川崎市幸区鹿島田1丁目1番2号 新川崎三井ビルディング
創 業	1930(昭和5)年7月7日
設 立	1969(昭和44)年5月1日
資 本 金	1,709,609,300円
従 業 員 数	843名(連結 2,948名、2018年3月31日現在)

事業内容



ビル建材事業

専門メーカーとして長年培った高度なテクノロジーとノウハウを駆使し、高い性能や品質と多様なデザインの要求に応えるビル用サッシ・カーテンウォールをご提案します。



フロントサッシ事業

オフィス、マンションのエントランスから店舗、ショールームなどの大開口部のファサードまでお客様のニーズに最大限にお応えする豊富なフロント商品を取り揃えています。



住宅建材事業

リフォーム市場も視野に入れたエコマドやエコ面格子といったエコシリーズ商品の充実を図り、お客様のニーズに応えています。



リニューアル事業

ストック化が進むマンションやオフィスビルを中心とした様々な建築物にリノベーション工事を施すことにより、快適な居住空間の提供や資産価値の向上をお手伝いします。



ユニットハウス・
防災関連事業

多目的な展開が図れるユニットハウスや防災備蓄倉庫、高性能機器収納箱(シェルター)まで、多様な用途にお応えするパッケージ商品を多彩なラインナップで揃えています。



LED事業

独自設計のLEDモジュールを使った商品の開発を進めています。アルミ素材とLEDの融合により様々な商品の可能性を広げていきます。



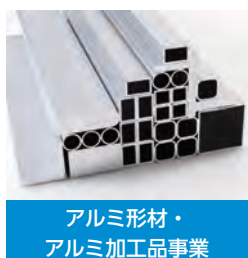
環境
エンジニアリング事業

都市ゴミ焼却施設の飛灰処理設備、リサイクル・粗大ゴミ処理施設のプラントエンジニアリングから薬剤の製造・販売まで都市ゴミのトータル処理システムを提供しています。



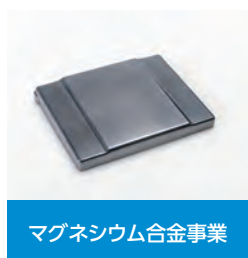
海外事業

フィリピン、ベトナム、台湾など東南アジアを中心に不二サッシブランド商品の展開や現地企業とのアライアンスを積極的に推進しています。



アルミ型材・
アルミ加工品事業

一貫生産システムで、建材から半導体製造装置、自動車関連、家電製品、事務機、日用品の部品まで軽金属のサプライヤーとして多様な商品を提供しています。



マグネシウム合金事業

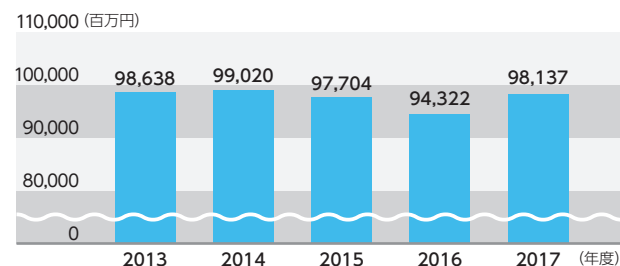
実用金属中最も軽量なマグネシウム合金の押出加工技術の研究・開発に取り組んでいます。高強度・高耐熱マグネシウム合金はあらゆる分野での事業展開が期待されています。

不二サッシグループ生産拠点

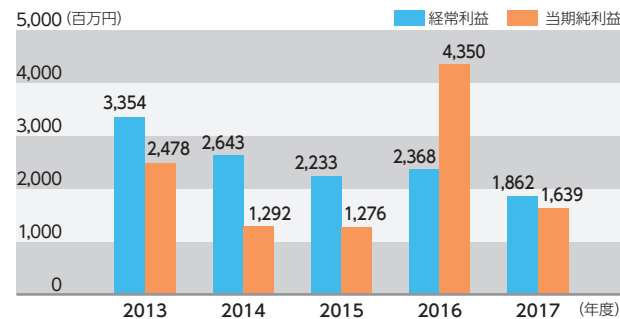


データ

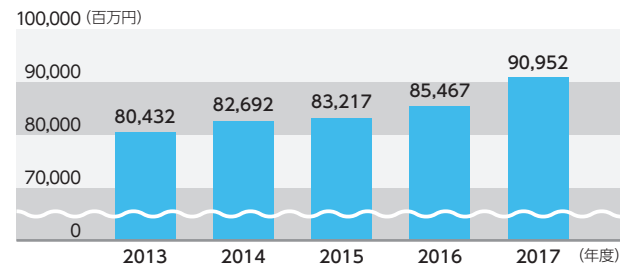
売上高



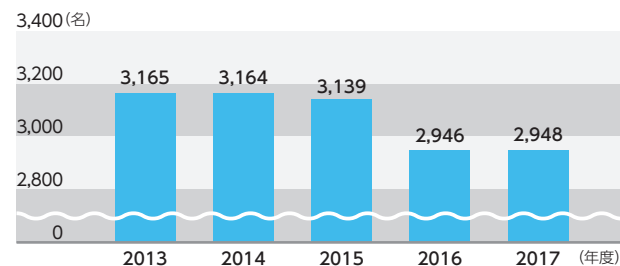
経常利益／当期純利益



総資産



従業員数



目 次

会社概要	2
目次／編集方針	3
トップメッセージ	4
不二サッシグループの成長戦略	6
不二サッシグループのあゆみ	8
不二サッシグループの製品・サービス	10

特集「100年企業」を見据えた取り組み 12

環境

地球環境のために

環境マネジメント	16
地球温暖化防止	17
環境負荷の低減	18
環境会計・マテリアルフロー	19

社会

お客様サポート

製品品質・安全への取り組み	20
TOPICS	21

社会とともに

不二サッシの活動	22
グループ会社の活動	22

従業員とともに

TOPICS	24
人権の尊重	25
人材育成	26
ワークライフバランス	27
労働安全衛生	27

コミュニケーション

ステークホルダーとのコミュニケーション	28
---------------------	----

ガバナンス

マネジメント コーポレート・ガバナンス	30
------------------------	----

編集方針

本報告書は、「環境省ガイドライン」を参考に不二サッシグループの事業内容および環境分野を含めたCSR(社会的責任)に対する基本的な考え方やその活動をステークホルダーの皆様へより広くご理解いただくことを目的として、毎年ホームページ上に公開しています。

今年度の報告内容については、当社の成長戦略に基づく100年企業を見据えた取り組みを特集としてまとめ、CSR活動についてはESGのカテゴリーごとの充実化を図り、見やすく読みやすい紙面となるように努めました。

[WEB](#) このマークをクリックすると当社ホームページ上で詳細情報をご覧いただけます。

● 対象範囲

不二サッシ(株)および関連会社
特定の範囲を示す場合は本文にその旨を表記しています。

● 対象期間

2017年4月1日～2018年3月31日

※一部対象期間以外の情報も含まれます。

トップメッセージ

不二サッシは1930年に設立し、
今年は創業88年、
2020年には創業90周年を迎えます。
現在、2017年度から2020年度までの
中期経営計画「創造」を推進中であり、
その基本方針は、
創業90周年を通過点として
その先の100年企業を見据えて、
企業価値を高め、存在感を発揮し、
「選ばれる企業」を目指すための礎を築くことです。

代表取締役社長

吉田 勉



中期経営計画について

2017年度は中期経営計画の初年度でした。コア事業である建材事業、形材外販事業は販売力の強化、コストダウンを推進しました。注力事業と位置づけたリニューアル事業においては九州地域などの地域戦略強化および商材拡大に取り組み、環境事業では人材育成など組織力の強化を実施しました。成長事業と位置づける海外事業は海外営業拠点としてベトナムに現地法人を新設し、LED事業では「建材と照明の融合」という新しい発想から生まれた商品『アルビームシステム』の販売を加速させました。『アルビームシステム』は、従来のファサードデザインを劇的に変える力を持ち、魅力的な夜間景観づくりに貢献するとともに、環境省の「光害対策ガイドライン」、東京都の「公共施設等のライトアップ基本方針」にも沿った、環境配慮型の建築ライトアップ演出を実現します。

不二サッシは社会のニーズに応え、今後も顧客価値の創造に取り組んでいきます。

経営理念の浸透、顧客志向の商品の提供

私は社長就任以来、経営理念の浸透を掲げ、社員に直接伝えてきました。社員一人ひとりが常に経営理念を意識し、実

践を重ね、徹底して継続することで初めて自然に滲み出るようになります。

「不二サッシは窓から夢をひろげていきます」

当社グループの基本姿勢を示すこの経営理念は1990年に制定しました。創業以来培ってきたサッシ事業（窓）を基盤として、形材外販事業、環境事業、リニューアル事業等、関連する新たな事業（夢）を育て事業展開してきました。これからも様々な事業にチャレンジし、企業価値の向上を目指していきます。

経営理念の中で三つの社員の行動規範を内外に約束しています。

「私たちはお客様との絆を大切にします」
「私たちは心を込めた商品を世に出します」
「私たちは活力あふれる気風づくりに努めます」

経営理念は不二サッシのDNAであり培われた人間力はグループの原動力となり100年企業を目指すための土台となります。

人間力は顧客目線の商品開発力、社員一人ひとりの対応力、組織としての対応力につながります。そしてその全てが商品であることを自覚し、不二サッシグループとして誇れる商品を世の中に提供し続けます。

100年企業を見据えた取り組み

千葉事業所ショールームオープン

2018年4月に千葉事業所内にショールーム「FACING ROOM」をオープンしました。取引先の方々に不二サッシのものづくりをより深く知っていただきたいとの思いから開設し、社会の発展やより豊かな生活の創造に貢献する当社の企業コンセプト、歩んできた歴史、積み重ねた実績、そして未来に向けた新たな事業展開、社員一人ひとりの将来に向けた思いなどをご紹介します。

マグネシウム事業展開

不二サッシグループでは、アルミニウム押出加工技術をベースに、さらに軽量なマグネシウム合金の押出加工技術の研究・開発に取り組んでいます。

2003年9月より産学官の研究開発事業に参画し、高強度マグネシウム合金の大型化技術を開発しました。熊本大学で開発された次世代耐熱マグネシウム合金は、車両等の軽量化を目的とした材料など、あらゆる分野での事業展開が期待されています。

また、医療分野における生体吸収性マグネシウム合金は、ステントや固定用医療機器において身体への負担、医療費の軽減が期待されています。マグネシウム合金の未開

拓分野でもあり、その他多くの医療機器に適用できる可能性を秘めています。

不二サッシグループでは、マグネシウム合金の実用化に向けて、これからも研究、技術開発を続けていきます。

CSR課題への取り組み

2017年は「明日の不二を考える若手プロジェクト」「女性活躍推進プロジェクト」を発足し組織の活性化などに大きな効果がありました。企業発展の原動力は社員であり、その「人間力」が不二サッシグループを支えています。したがって、社員が持てる能力を最大限に発揮できる環境を作り上げることは、会社の重要なテーマであり、ワークライフバランスの実現、人材育成、女性活躍の推進、さらにはグローバルな慣習・文化への対応など、全社レベルで積極的に取り組んでいきたいと考えています。

また、環境保全への取り組みでは、環境配慮商品の提供のみならず、工場を中心とした省エネルギーなど環境負荷の低減についても継続的に実施していきます。

不二サッシグループは、お客様に信頼され、社会に貢献し続けるという経営基本方針を実現するため、ガバナンスの強化に努め、コンプライアンスは法令順守のみならず、広く社会的な要請ととらえ、これにしっかりと応えていきます。

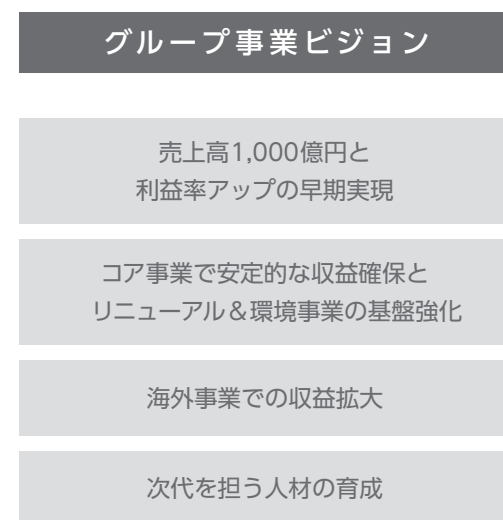
不二サッシグループの成長戦略

不二サッシ株式会社は2020年に90周年を迎えます。これからの厳しい市場環境を再認識し、4ヵ年の中期経営計画「創造」を策定いたしました。

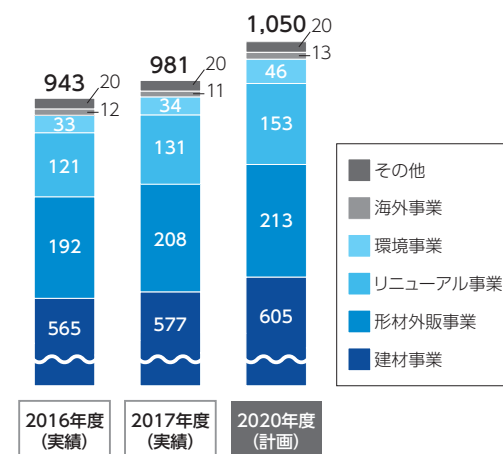
第三次「創造」(2017年度～2020年度)ではコア事業の継続的な収益安定化と注力事業の強化および成長事業での事業基盤構築に取り組み、お客様に最適な形で価値を提供するエンジニアリング企業を目指していきます。

長期的な施策では収益性や成長性の低い事業から、より収益や成長が期待できる事業へ資源を集中する戦略(事業ポートフォリオ戦略)を推進し、グループ経営資源の最適配分によって収益基盤の更なる強化と多角的な収益事業の育成を目指します。

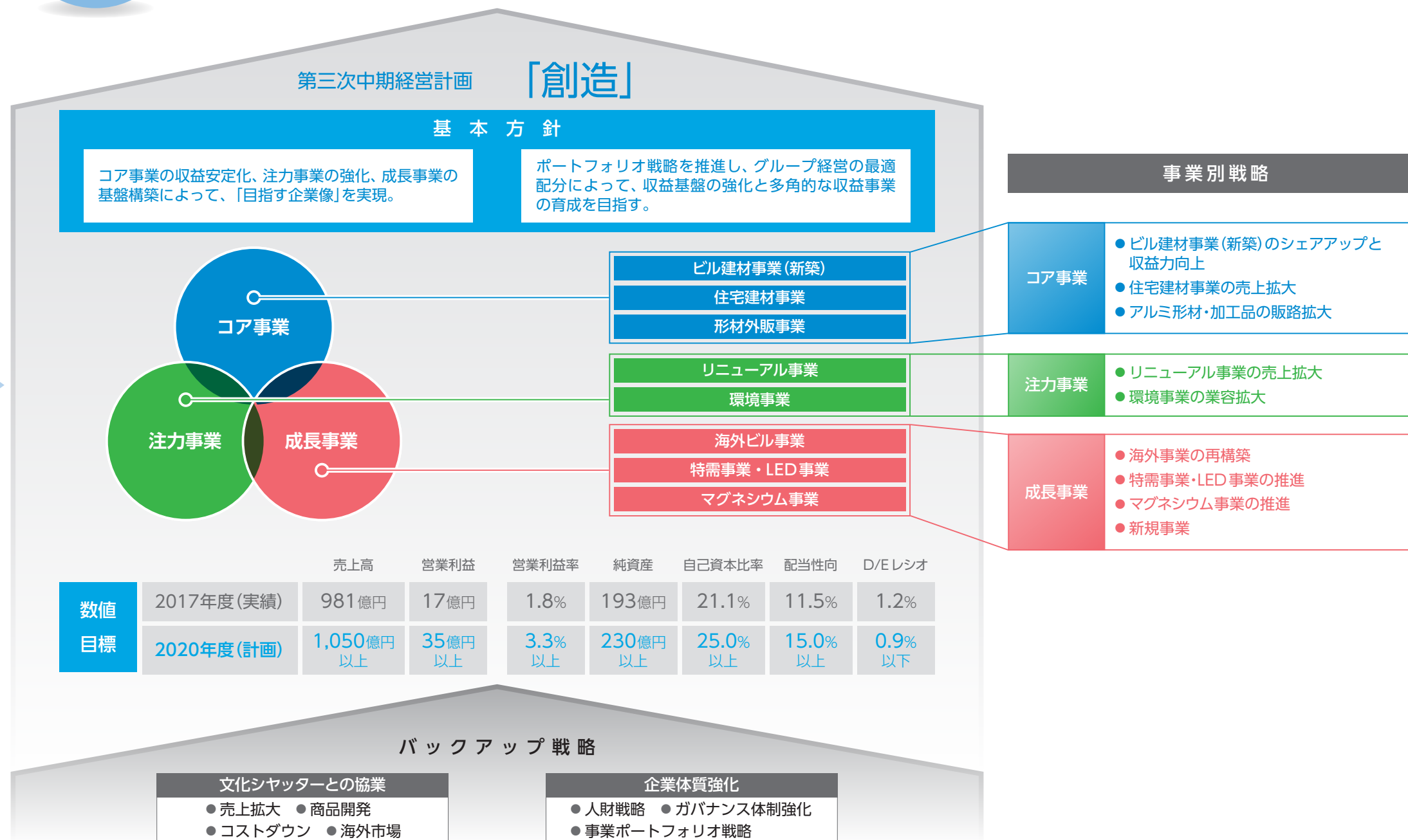
中期経営計画の概要



セグメント別売上高 (億円)



変革への挑戦、選ばれる企業へ



不二サッシグループのあゆみ

私たちは1930年の創業以来、サッシの製造事業を通じてビルや住宅における快適な居住環境を追求してきました。特に1958年に国内で初めて製造販売を開始したアルミサッシ分野では、一貫生産のアルミサッシ・カーテンウォールのパイオニアとして国内外のビッグプロジェクトに参加し、都市景観の創造に寄与してきました。そして今、80年以上の歴史の中で培った技術力と提案力を軸とした最先端の研究開発力、安定した生産・供給力を基盤に、アルミサッシ・カーテンウォールの基幹事業をはじめ、リニューアル事業からアルミ形材・加工品事業、環境エンジニアリング事業、海外事業、さらには新素材開発まで、未来を見据えて新たな事業を積極的に展開し、グローバルエンジニアリング企業を目指しています。

1932

服部時計店



1954

清水市庁舎



1958

日本で初めてビル用アルミサッシの製造・販売を開始

1961

日本で初めて住宅用アルミサッシ「片引きFK」発売

1964

日本初の超高層建築「ホテルニューオータニ」竣工 1
当社のカーテンウォール工法が採用される

1966

富士銀行本店



1967

新宿西口駅本屋ビル



1968

東京都八重洲口本館



1969

ホテルプラザ



1972

NHK放送センター



1978

サンシャイン 60



1986

ヤマトインターナショナル



1991

東京都第一本庁舎



1997

クイーンズスクエア横浜



1975

廃棄物の固化処理技術「アルセット工法」開発

1999

(株) 荏原製作所と提携し、
ダイオキシン類低温加熱分解装置の製造・販売開始

1970年代から1990年代

1981

不二サッシ工業(株)、不二サッシ販売(株)、不二サッシ(株)
3社合併により、不二サッシ(株)として新発足

1990

経営理念「窓から夢を」制定

1992

●経営理念を主題とするシンボルマークを制定
●東京証券取引所市場第二部に株式上場

1994

不二サッシフィリピン社設立

1997

●千葉カーテンウォール試験センター稼動
●ISO9001認証取得

1930年代から1960年代

1930

鋼製建具の製造を目的に株式会社不二サッシ製作所設立
(旧 不二サッシ工業(株))

1957

米国フェントロン社と技術提携しアルミサッシの技術を導入

1965

千葉県市原市に千葉工場完成

1968

大阪府高槻市に大阪工場完成

1969

●九州不二サッシ(株)設立

快適な居住空間の追求と 未来を見据えた新たな事業展開

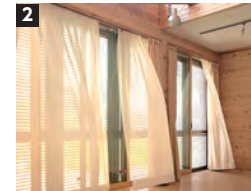
2002

丸の内ビルディング



2004

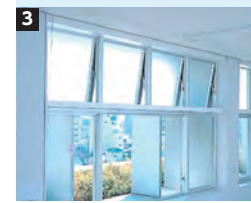
浜松町スクエア



2002

「エコアマト」発売 2
2002年度グッドデザイン賞受賞

2004

●次世代型バリアフリーサッシ
「フラットステージ」
●アルミ木材複合カーテンウォール
「ジェイナス」
●横引きアルミシャッター「シエスタV」
2004年度グッドデザイン賞受賞

2009

●「テラコッタ調アルミニウム表面処理建材」
●自然風力換気窓「ウインプレス」 3
2009年度グッドデザイン賞受賞

2000年代

2001

●全国22販売会社を全国6広域販売会社に再編
●ISO14001認証取得

2004

九州不二サッシ(株)を完全子会社化

2006

(株) 不二サッシ九州を承継会社とし、「九州地域製販一体新会社」を発足

2007

九州不二サッシ(株)を承継会社とする資材統合新会社を発足
これに伴い社名を不二ライトメタル(株)に改める

2009

文化シャッター(株)と「資本および業務提携に関する基本合意書」を締結

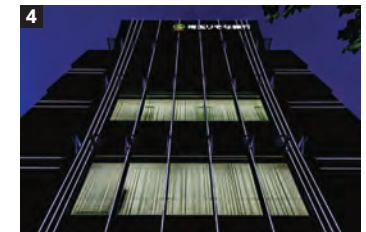
2012

友愛会館



2018

埼玉りそな銀行 熊谷支店



2017

秋田市新庁舎



2013

LED商品アルエアシリーズ
「タイプIIコンボジットモデル」
2013年度グッドデザイン賞受賞

2014

LED商品アルエアシリーズ
「タイプIIIアルエア-グラン」
2014年度グッドデザイン賞受賞

2015

●LED搭載型カーテンウォール「アルビームシステム」 4
●アルミペンダントライト「i-v (アイ・ヴィ)」
●「エコ引違い雨戸スピーディ」
2015年度グッドデザイン賞受賞

2016

次世代ハイグレードサッシ「FNS- II 70」新発売

●「アルビーム・エルドロウ」 ●「アルビーム・自動ドア」
●「ブラケットライト」
2016年度グッドデザイン賞受賞

2017

フィグラ(株)、(株) 遠藤照明との異業種コラボレーションによる
これまでにない建築ファサードの提案

2018

●「アルビームカーテンウォール トランザムタイプ」
●「FNS- II 100R」
2018年度グッドデザイン賞受賞

2010年代から

2015

●不二サッシ(株)特需事業ユニットハウス増産体制確立
●不二サッシ(株)折り畳み式ユニットハウスの接合部で業界初の技術評定取得
●不二ライトメタル(株)マグネシウム合金を使った医療機器開発を始動

2016

●台湾に合弁会社「不二太天股份有限公司」を設立

2017

不二サッシベトナム社設立

2018

アジアニッカイ(株)、北海道住宅サービス(株)、高槻ダイカスト(株)
新たに不二サッシグループに

不二サッシグループの製品・サービス

建材事業を核に社会の隅々で 活躍する不二サッシグループの製品・サービス



グループのコア事業

ビル建材事業

1 カーテンウォール



カーテンウォールにおける省エネ技術として、エコロジーをキーワードに、標準的なカーテンウォールとオプション部材の組み合わせによる多彩なラインナップを用意しています。

フロントサッシ事業

2 フロントサッシ



アルビームフロント (LED組み込み商品) など

オフィス、マンションのエントランスから店舗、ショールームなどの大開口部のファサードまで、お客様のニーズに最大限にお応えする豊富なフロント商品を取り揃えています。



防災・災害対策

フロントサッシ事業

3 フロントサッシ



Fフロント 水防タイプ

自動ドア部にポリ塩化ビニル製の止水シートを標準装備。止水シートが水圧でサッシ・ガラスに密着し、土の約10倍の止水性能を発揮します。

アルミ形材・アルミ加工品事業

4 クロススクリーン



用途は医療用を主としていますが、災害時等、様々な用途で利用できるマルチタイプです。

ユニットハウス・防災関連事業

5 ユニットハウス



普及 (Stock)

災害時 (Toilet)

災害救護多機能倉庫 (Stock&Toilet)

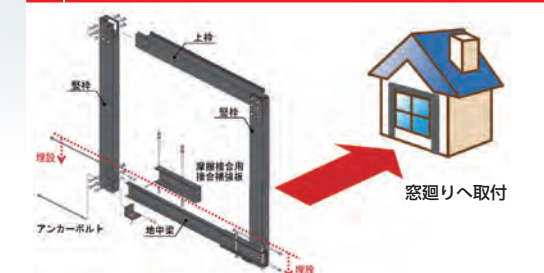


防災備蓄倉庫 (フジストッカー)

オフィス、現場事務所、仮店舗、収納庫など多様なニーズに対して、豊富なオプション類で柔軟に対応します。防災倉庫にはソーラーシステムユニットが加わり、備蓄品の長期保存だけでなく、災害時の拠点としての有効利用も可能になりました。

不二サッシリニューアル(株)

6 耐震補強枠



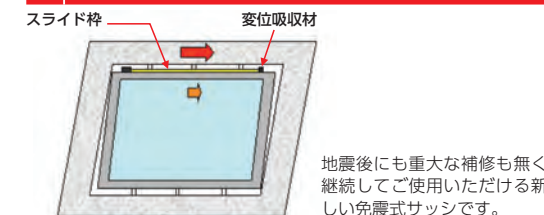
アルミニウム合金耐震補強枠

窓周りや壁面に補強枠を取り付けるだけで、建物の耐震性能を向上させます。

窓廻りへ取付

ビル建材事業

7 免震式サッシ枠



スライド枠

変位吸収材

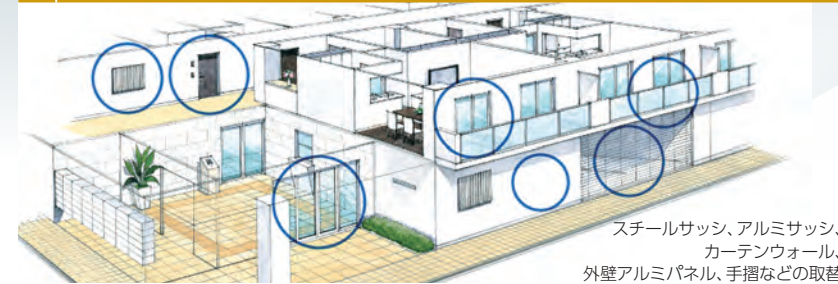
地震後にも重大な補修も無く継続してご使用いただける新しい免震式サッシです。



地域貢献

不二サッシリニューアル(株)

8 リノベーション工事



スチールサッシ、アルミサッシ、カーテンウォール、外壁アルミパネル、手摺などの取替

ビル建材事業

9 ゴミ集積ボックス



クリーンボックス

ゴミの散乱を防ぎ、収集所を清潔に保ちます。清掃やゴミ袋の出し入れも簡単で、通りの景観も損ないません。

環境エンジニアリング事業

10 粉塵防止剤



フラインेटR (植物由来)

主原料に植物由来の有機性資源であるバイオマスを使用しています。

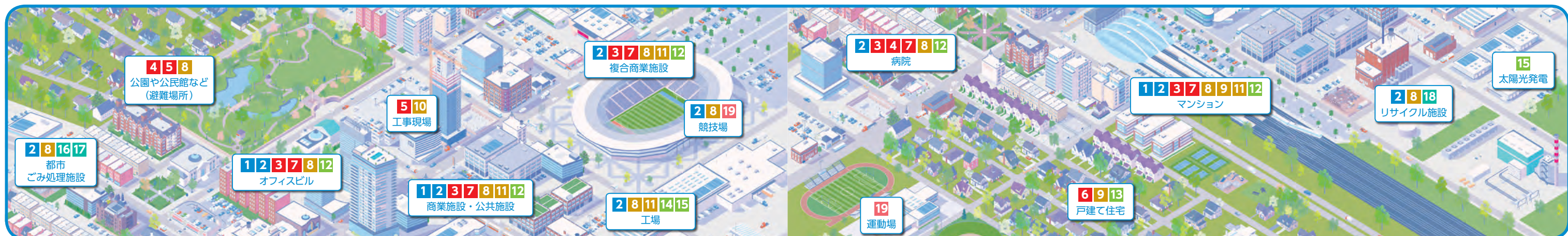
アルミ形材・アルミ加工品事業

11 サイクルラック



フィットスライド

「自転車が詰まっていて出し入れしにくい」「大切な自転車を壊したくない」そんな悩みや要望を、フィットスライドが解決します。



省エネ貢献

ビル建材事業

12 次世代型ハイグレードサッシ



FNS-II 70

高層マンションで求められる、より高い耐風圧性能、水密性能をクリアし、さらに断熱性能、遮音性能を発揮するハイスペックな商品です。

住宅建材事業

13 住宅サッシ



「エコシリーズ」
●エコアマド (写真)
●エコ引違い雨戸
●エコ折り雨戸
●エコ面格子

特定得意先向け高断熱サッシ
「セフティルーバーWINDOW」

LED事業

14 水銀灯型LEDランプ



工場・高天井に最適。水銀灯も省エネ・長寿命のLEDに。

アルミ形材・アルミ加工品事業

15 ソーラー架台



JIS C 8955の基準に沿った設計で、要求される強度を満たしつつ、軽量化・施工性を考慮した形状になっています。



環境貢献

16 ダイオキシン類低温加熱分解装置



粗大ごみや不燃ごみ、ペットボトル、廃プラスチック等それぞれのごみに合わせた処理システムの設計・施工およびエンジニアリング全般をお引き受けします。

17 飛灰処理施設



混練成形機

環境エンジニアリング事業

18 リサイクル処理設備



二軸破砕機



障がい者支援

マグネシウム合金事業

19 競技用車いす



熊本出身の選手と連携して開発した「made in Kumamoto」のマシンです。

「100年企業」を見据えた取り組み

不二サッシグループは2020年に創立90周年を迎えます。

2017年度から2020年度までの中期経営計画「創造」の基本方針は、創業90周年へ向けてその先の100年企業を見据え、企業価値を高め、存在感を発揮し、選ばれる企業を目指すための礎を築くことです。

「100年企業」を見据えて

不二サッシのものと 未来への思いを伝えるショールーム

FACING ROOM

不二サッシは、お取引先の皆様に不二サッシのものとづくりをより深く知っていただきたいとの思いから、千葉事業所内（千葉県市原市）にショールーム「FACING ROOM」を開設しました。このショールームは、「不二サッシの歴史と実績を紹介するエリア」「アルミ建材とLED建材を紹介するエリア」「90周年、そして100年企業に向けたエリア」で構成されており、約570m²の展示空間に、当社のものとづくりに対する考え方や未来への思いなどを表現しました。

社会の発展やより豊かな生活の創造に貢献する当社の企業コンセプトはもとより、創業以来、歩んできた歴史、積み重ねた豊富な実績、生活の中で活躍する基幹商品、その製造工程、そして未来に向けた新たな事業展開、社員一人ひとりの将来に向けた思いなどをご紹介します。このショールームから、お取引先の皆様を中心に新たな情報発信をしていきます。



ショールームエントランス



LED建材商品エリア

「100年企業」を見据えて

3社共同開発商品第一弾 光の演出効果で 景観デザインの可能性を広げる

アルビームカーテンウォール トランザムタイプ

不二サッシとフィグラ（株）、（株）遠藤照明は、2017年6月、建築ファサードに特殊なガラスや演出照明を加える複合提案サービスを開始しました。今後は協業による多様な事業展開により、共同開発した商品の市場投入を目指しています。

共同開発の第一弾として、不二サッシは、遠藤照明社の高出力LEDと特殊なレンズを搭載した、「アルビームカーテンウォール トランザムタイプ」を発売しました。この商品は、建材と照明を融合させる商品シリーズ「アルビームシステム」の新たなバリエーションであり、建築ファサードに新しい光の演出を加えていきます。また、フィグラ社の多彩なエッチングガラスを組み込むことで、光の演出に彩りを加えた意匠を提案していきます。

「アルビームカーテンウォール トランザムタイプ」は、魅力的な夜間景観づくりに貢献するとともに、環境省「光害対策ガイドライン」や東京都「公共施設等のライトアップ基本方針」にも沿った、環境配慮型の建築ライトアップを実現します。

施工例

無目拡大写真

「100年企業」を見据えて

業界初、サッシ製品を防火設備にする オンリーワン商品

インナー防火スクリーン

ロールスクリーンとして防火設備の認定を取得した業界初の商品で、サッシ室内側に取り付けることで開口部が防火設備になります。防火設備認定を取得したサッシ製品は少なく、出窓などに代表されるデザイン性の高いサッシ製品は、どのサッシメーカーも防火設備認定を取得していません。非認定のサッシでもインナー防火スクリーンを取り付けることで、外観デザインはそのままに防火設備となり、建築デザインの選択肢が広がります。さらにスクリーンとスクリーン枠の密閉性が高く、外部サッシとの複合により断熱性を1～2ランクアップさせる効果と、透光率の少ないスクリーンによる遮光・遮視を向上させることができます。



インナー防火スクリーン取り付けイメージ

VOICE ●

長瀬 智哉 (写真左上)

不二サッシ (株)
技術本部

この商品は、現在まで100回を超える文化シャッター、不二サッシの協業商品開発部会で開発をすすめた商品で、今後も両社の強みを活かした商品を開発していきます。



VOICE ● 野口 弘幸様

文化シャッター (株) 商品開発部

インナー防火スクリーンは、開口部の防火性能を担保すると同時に、通常は遮光効果のあるロールスクリーンとして使用することで室温上昇を軽減でき、防災と環境に寄与するオンリーワン商品です。不二サッシさんのサッシ技術と文化シャッターのシートシャッター技術を活かして協働で開発した商品ですが、その開発プロセスは、防火認定を取得するための仕様実現と、ユーザーがロールスクリーンとして通常使いするための性能を両立させるために試行錯誤の繰り返しでした。多くの課題を両社で知恵を出し合いクリアして、業界初のオンリーワン商品を開発することができました。



特集 「100年企業」を見据えた取り組み

「100年企業」を見据えて

新分野への技術開拓を目指す
研究・開発への挑戦

マグネシウム合金の研究・開発

マグネシウム合金の特徴

強み

- 1 豊富な天然資源
- 2 実用金属最軽量
- 3 高比強度・高比剛性
- 4 最も優れた振動吸収性
- 5 優れた切削加工性
- 6 低い毒性
- 7 優れた耐くぼみ性
- 8 高いリサイクル性
- 9 安定した電磁波シールド性
- 10 優れた寸法安定性
- 11 小さい比熱

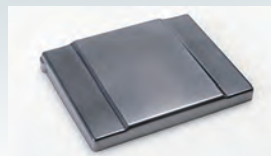
弱み

- 1 切粉が燃えやすい
- 2 低い耐食性

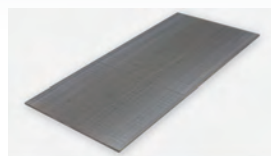
沿革

2002	熊本大学とMg合金に関する共同研究開始
2005	一般マグネシウム合金押出材の提供開始
2006	次世代耐熱マグネシウム合金の基盤技術開発事業への参画(5年間)
2011	超軽量マグネシウム合金提供開始(LZ合金)
2012	先端技術実証・評価設備工場の完成 産業技術総合研究所と技術情報開示契約締結
2013	革新的新構造材料等技術開発への参画 マグネシウム分析棟完成
2014	マグネシウム合金の高精度長尺細管の押出技術を開発
2015	遠隔離島における産学官連携型の海洋関連技術開発への参画 熊本県、熊本大学、不二ライトメタル及び日本医療機器技研の包括的連携協定調印
2016	NEDO「中堅・中小企業への橋渡し研究開発促進事業」採択
2017	経済産業省による地域経済牽引事業に認定
2018	生体吸収性マグネシウム合金研究設備工場の完成

一般マグネシウム



汎用マグネシウム合金
(AZ31、LZ91など)
(圧延用素材押出加工材)



純マグネシウム
(押出加工材)

設備

- 小型真空溶解鋳造装置
- 金型溶解鋳造装置
- 半連続鋳造装置
- 直接押出機
- サーボプレス機
- マシンニングセンタ
- 摩擦攪拌接合機(FSW)
- 大型旋盤
- ベンディングマシン
- 切断機
- 化成処理ライン
- 陽極酸化処理ライン
- 生体吸収性マグネシウム合金の溶解・鋳造、押出し、引抜き、レーザー加工機

次世代マグネシウム合金

KUMADAI耐熱マグネシウム合金
WZ75 series

長周期積層構造(Long Period Stacking Ordered Structure, LPSO 構造)と呼ばれる特殊な原子構造をした相によって強化された新しい耐熱マグネシウム合金です。

難燃性マグネシウム合金

NEDO 革新的新構造材料等研究開発事業「高強度マグネシウム(押出材)の開発」において、大型輸送機器への適用を目標に、合金開発及び大型押出成形技術の開発を行っています。

生体吸収性マグネシウム合金

生体吸収性マグネシウムは、ステントや固定用医療機器において、治療後に体内から、摘出する必要性がなくなるため、身体への負担、医療費の軽減が期待されています。また、マグネシウムの未開拓分野であり、その他多くの医療機器に適用できる可能性があります。

VOICE ●
佐々木 美波

不二ライトメタル(株)
研究開発グループ



これまで適用が困難とされてきた、自動車などの耐熱部品への実用化を目指し、開発を進めています。

VOICE ●
上田 祐規

不二ライトメタル(株)
研究開発グループ



(国研) 産業技術総合研究所で開発された、燃えにくい特性を有しているマグネシウム合金。鉄道車両などの輸送機器への適用を目指して開発しています。

生体内における好適な分解挙動を付与したマグネシウム合金。スキャフォールドなどの医療機器への適用を目指して開発しています。

「100年企業」を見据えて

幅広いサッシ枠に対応し
通風・採光・外からの視線をコントロール

セフティルーバー WINDOW

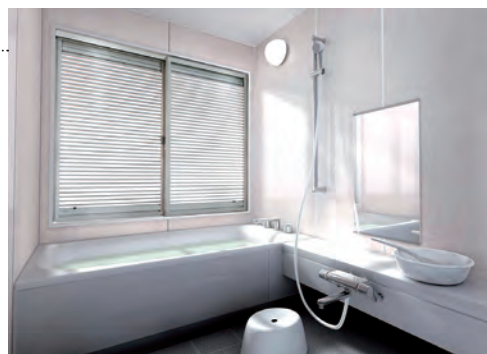
「セフティルーバー WINDOW」は、サッシとの組み合わせで、二重ウィンドウとして侵入に対する抑止効果を発揮します。室内側に取り付けるため外壁やサッシに影響されず、さまざまな開口部に取り付けが可能です。

通風・採光・日照調整機能

ルーバーが0°～110°まで自由に開閉できます。光や風を充分に取り入れたいときにはルーバーを90°に、日除けとして使いたいときには45°～60°に、遮光したいときには0°にして使用します。

プライバシーの保護と防犯効果

サッシとの組み合わせで、二重ウィンドウとして抑止効果を発揮します。また、ブラインド機能によるプライバシーの保護機能にも優れています。玄関ドア、勝手口ドアとの組み合わせで、防犯性能がアップする「内折れタイプ」と、キッチン、バス、トイレなど雨戸の付かない窓に「引違いタイプ」をご用意しています。



浴室サッシ設置例



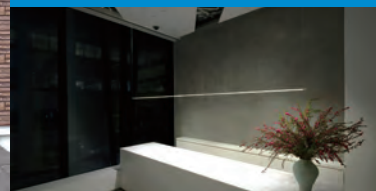
玄関ドア設置例



alair type II



ALAIR GRAND



i - v

「100年企業」を見据えて

アルミニウム素材の設計・加工技術を活かし
いままで無かった製品を開発

「アルミ製高級LED照明器具の開発技術」で受賞

不二サッシの「アルミ製高級LED照明器具の開発技術」が「平成 29年度 日本アルミニウム協会賞」において「技術賞」を受賞しました。日本アルミニウム協会は、アルミニウム産業における技術の進歩、製品の開発、需要の拡大ならびに協会の運営および事業活動に貢献した個人やグループ等を顕彰することを目的として、開発賞、技術賞を設置しており、当社が受賞した技術賞は「アルミニウム材料および製品の製造、加工技術で特に優れた技術」「環境対策・対応など社会的に貢献度の大きい技術」に贈られる賞です。

不二サッシグループは今後も技術の向上に努め環境に配慮した製品を開発し、社会への貢献と企業価値向上に取り組んでいきます。



技術賞受賞者
左) 技術本部 土井和之
右) 商品開発二部 福井隆浩

地球環境のために

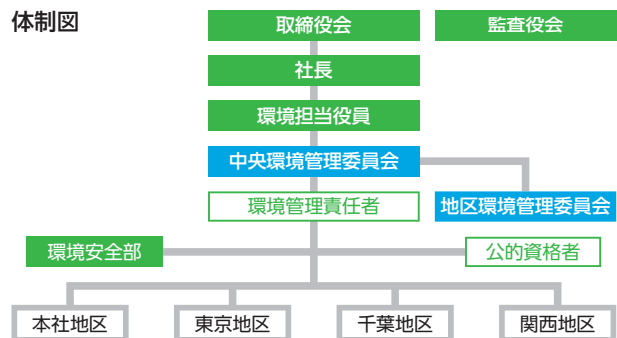
環境マネジメント

不二サッシグループの環境方針

環境基本方針・行動指針に基づき、環境マネジメントシステム(EMS)を導入して環境保全活動を進めています。環境リスクを製造・加工の段階で対策するだけでなく、設計部門での環境配慮設計や施工部門での環境配慮、各部門でのペーパーレス化を推進し、継続的な改善で経営効果に結び付けていきます。

WEB 基本方針・行動指針全文【トップ>企業情報>CSR報告】

推進体制



「中央環境管理委員会」の下、各地区ごとに環境管理委員会を設置し、地区の公害防止や環境保全問題の円滑な処理、省エネルギー推進とシステムを構築する委員会の開催、環境施策の検討や情報交換、水平展開により、活動のレベル

アップとスピードアップを図っています。

また環境安全部を中心に、環境管理委員会にて改善策の推進および実施状況について指導をしています。さらに、各地区において環境管理委員会を開催し、全社の環境保全に関する情報集約と公害の発生防止に努めています。なお、ISO認証については、2015年版への移行を完了しています。

WEB ISO14001 認証取得状況【トップ>企業情報>CSR報告】

環境教育

環境マネジメントシステムの理解と、環境意識の向上を図るため ①全従業員を対象とした一般環境教育 ②専門知識を必要とする従業員に対する専門環境教育を実施しています。また、優遇制度を設け、環境関係の公的資格取得を推進しています。

グリーン調達

樹脂部品の材質刻印の推進

廃棄時の分別の目安として、サッシに使用されている樹脂部品に用いられている材質の刻印を施しています。

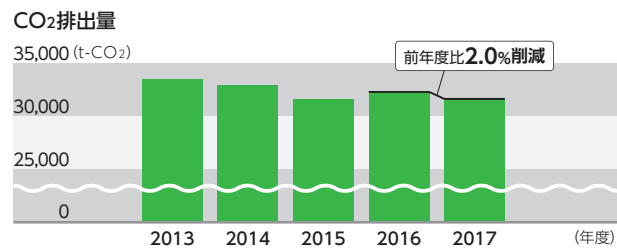
各生産拠点個別購買から集中購買比率向上の推進

各生産拠点が各々必要数量だけ購入する形態から、統合金具倉庫にてロットをまとめ、集中購買することにより納品回数を減らし、環境負荷の低減に寄与しています。

地球温暖化防止

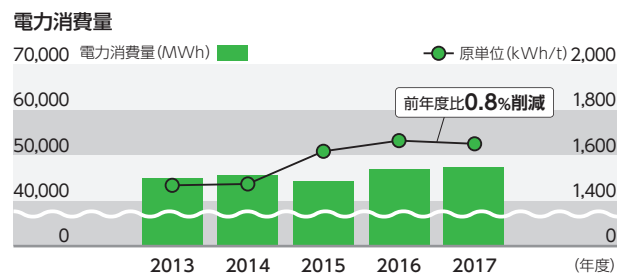
CO₂排出量の削減

CO₂排出量削減のため、コンプレッサーのインバータ化および容量削減、空調機の設定温度(夏 28℃、冬 20℃)の徹底、照明設備のLED化等の省エネルギー活動の推進に努めています。2017年度のCO₂排出量は31,652t-CO₂/年と、前年度比で2.0%の削減となりました。



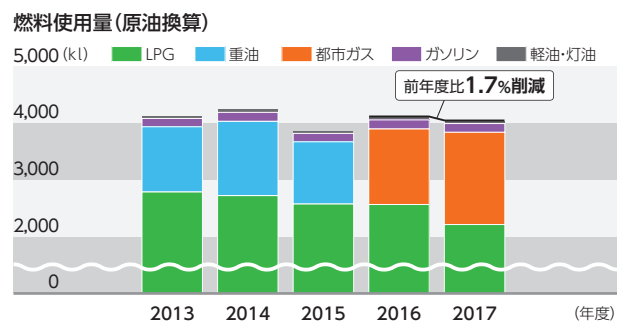
消費電力の削減

原単位＝生産量(押出+電解)当りの電力消費量(kWh/t)を、前年度比で1.0%改善することを目標とし、生産工程のスリム化を進め2017年度の実績は、前年度比で0.8%改善しました。電力消費量は、47,341MWhとなり、前年度比で1.1%増加となりました。



燃料使用量の削減

生産段階で用いられるLPG、都市ガス、ガソリンを代表とする燃料の2017年度使用量は、原油換算値で4,024klとなり、前年度比で1.7%削減しました。

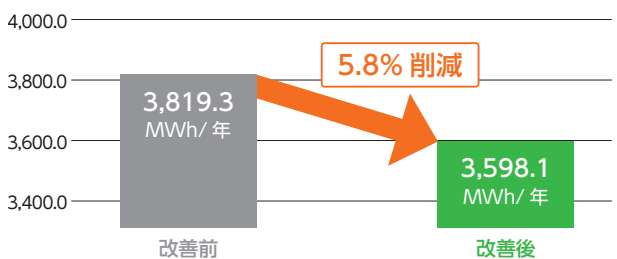


省エネルギー活動

コンプレッサー更新後の最適化運転

不二サッシ千葉事業所では、主な工場棟へ圧縮エアーを供給するコンプレッサーを2017年4月に更新し、インバータ機2台の交互手動運転と、定速機3台の台数制御による自動運転を併用しています。設定圧力は0.6MPaで稼働していましたが、必要圧力に比べて過剰になっている可能性に着目し、圧縮エアーの消費量の多い部門と、供給距離が最も長い部門の使用圧力および設備稼働状況を確認しながら、コンプレッサーの設定圧力を徐々に下げました。その結果、0.5MPaまで下げることができ、電力量削減221.2MWh/年の省エネ効果が得られました。

電力量削減効果



コンプレッサー全景

VOICE ● 泉 喜憲(写真左)
不二ライトメタル(株)
東日本事業部 管理部

工場内の設備のほとんどはエアーがないと稼働しません。今はまだコンプレッサーが新しいため大きな不具合はありませんが、各工場棟にムダのない安定した圧縮エアーを供給できるように、日常点検やメンテナンスを的確に行うなど維持管理に努めていきます。



環境行動目標と2017年度実績

☀ 達成 ☁ 未達成項目あり ☹ 全て未達成

行動指針	環境行動目標	2017年度実績	達成度
省エネルギー活動	生産量(押出+電解)当たりの電力消費量およびCO ₂ 排出量原単位を前年度比1.0%改善する	●電力消費量原単位：前年度比0.8%削減 ●CO ₂ 排出量原単位：前年度比3.9%削減 ※コンプレッサー最適化運転による改善 ※電力使用量は前年度比1.1%増加	☁
	省エネルギー製品の開発(断熱・省エネ関連商品開発)	●断熱商品：FNS-II 100R 他2商品 ●省エネ商品：セフティルーバーWINDOW 2商品(タイプ拡充)	☀
	メガソーラーシステムの運用(通期発電計画の達成)	●3基のメガソーラーシステムを運用 千葉事業所第1発電所、第2発電所および関西不二サッシ発電所の運用(2017年度の3基合計発電量：4,148.2MWh)	☀
	各職場での節電の励行	●クールビズ、ウォームビズの実施 エアコン設定温度(夏季28℃、冬季20℃) ●照明の調光器実施 ●デマンド監視装置の導入	☀
省資源活動	●新設備・技術導入による省資源活動 ●地下水膜ろ過システムの導入による上水使用量の低減および地域貢献活動	●新空調設備導入による燃料削減 ●事業継続計画(BCP)の一環として地下水膜ろ過システムを運用	☀
リサイクル(ゼロエミッション)	ゼロエミッションの継続、推進 廃棄物のリサイクル率97.0%以上	●リサイクル率：95.6% ●廃棄物排出量：前年度比9.3%削減	☁
化学物質の管理	●PRTR法等に対応するSDSを確保 ●部品、部材の安全性の確認	●開発商品に使用する材料のSDSを確認し、指定化学物質の使用を回避	☀
グリーン調達	グリーン調達に向けた部品・材質への切替え	●樹脂部品の材質刻印の推進 ●各生産拠点個別購買から集中購買比率向上の推進	☁
法規制遵守	大気、水質、騒音、有害物質等の法規制・条例、その他規制の遵守	●環境教育を含めた、法遵守のためのコンプライアンス教育の実施 ●関係会社への法遵守環境監査実施 ●2017年度環境法令違反件数：0件 ●コンプライアンスの小窓発行	☀

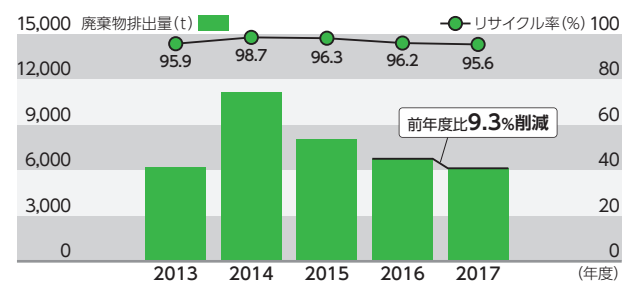
環境負荷の低減

廃棄物排出量の削減と3Rの推進

産業廃棄物排出量は、6,149tと前年度比－9.3%と大幅に削減しました。また、再利用・再資源化分が 5,880t、リサイクル率は 95.6%となりました。今後は、廃棄物排出量を削減した中で、ゼロエミッション*を達成できるように 3R運動に取り組んでいきます。

* **ゼロエミッション**：廃棄物のリサイクル率97%以上。2017年度は、委託先廃棄物処理業者撤退によりリサイクル率は悪化。

廃棄物排出量とリサイクル率



コンプレッサードレン水の産廃処分ゼロへの取り組み

不二サッシ千葉事業所では、コンプレッサ－5台で主な工場棟へ圧縮エアーを供給していますが、コンプレッサ－の運転で発生する油分を含んだドレン水は、全量(179t/年)を産廃処分していました。そこで、産廃処分量「ゼロ」を目標にドレン処理装置を導入し、ドレン水は放流できる油分濃度排出基準をクリアしました。



ドレン処理装置

VOICE・宮本 章雄

不二ライトメタル(株)
東日本事業部 管理部

1日最大で1m³排出されるコンプレッサードレン水は、ドレン処理装置で油分を除去したのち海域へ放流されます。ドレン処理装置に不測の事態が生じた場合は、油膜検知器が作動し放流を自動停止させる仕組みになっていますが、別途、ドレン水に油分が含まれていないか毎日、目視確認しています。また、油膜検知器の定期的な動作確認も行っています。



さらに安定したドレン水処理を継続するため、ドレン処理装置の前工程として、浮上油を除去する仕組みを自社製作し運用しています。その結果、ドレン水の産廃処分量「ゼロ」を継続しています。また、ドレン処理後の放流水に油分が含まれた場合、放流を自動停止する油膜検知器を設置し、常時監視も行っています。

化学物質の管理

生産段階で使用される化学物質の危険有害性や取り扱い・保管上の注意および緊急時の応急措置等をSDSで把握し、保管・管理を徹底しています。

PRTR法への対応

PRTR法(有害物質排出移動登録)に基づき届出を行っている化学物質の排出量、移動量は次の通りです。

PRTR対象物質(2017年度)					
単位: t/年					
番号 化学物質名	309 ニッケル 化合物	374 ふっ化水素及び その水溶性塩	405 ほう素 化合物	412 マンガン及び その化合物	
取扱量	4.87	5.25	2.79	1.91	
排出量	大気	0.00	0.10	0.00	0.00
	水域	0.69	0.00	1.98	0.00
	土壌	0.00	0.00	0.00	0.00
排出量	上下水	0.00	0.00	0.00	0.00
	上記以外	0.00	0.00	0.00	0.00
使用量	4.87	5.25	2.79	1.91	

※ 生産範囲の拡大により 2017年度はマンガン及びその化合物が追加となっています。

PCBの管理

PCBを含むコンデンサ、変圧器、安定器について廃棄物の処理および清掃に関する法律の基準に沿って適正に保管・管理をしています。また、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物等の保管及び処分状況等届出書」により報告をしています。

法規制遵守

環境法規要求事項一覧表に基づき点検・管理を行っています。特に監視ポイント毎の現場点検、公害防止管理者の職務改善、環境教育およびコンプライアンス教育に重点を置いた改善活動を行っています。

緊急事態への対応

化学薬品や燃料の流出など、工場外への重大な環境汚染を未然に防ぐため、緊急事態対応マニュアル・手順書を作成し、手順書に基づく訓練を行っています。

環境会計・マテリアルフロー

2017年度の環境会計

環境保全コスト

単位: 千円

分類	主な取り組み内容	投資額		費用額	
		2016年度	2017年度	2016年度	2017年度
公害防止コスト	燃焼ガス処理施設、排水処理施設、監視施設	6,643	14,778	83,105	80,928
地球環境保全コスト	照明のLED化、省エネルギー等	85,041	1,800	8,088	247,508
資源循環コスト	廃棄物処理等	1,000	6,964	103,909	90,245
管理活動コスト	環境マネジメント、事業所緑地整備等	24,890	7,528	35,940	30,365
社会活動コスト	工場見学、地域清掃活動等	0	0	5,420	5,450
合 計		117,574	31,070	236,462	454,496

【集計範囲】不二サッシ(株) 千葉事業所

※ 環境保全に資する製品等の研究開発コストなどは含んでいません。

環境保全対策にともなう経済効果

単位: 千円

分類	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
省エネによる費用削減	14,601	20,406	22,110	23,822
廃棄物処理の削減費(前年度比)	－ 168,021	119,618	14,501	14,199
有価物売却益	17,550	14,980	13,525	13,251
上水道購入削減費(前年度比)	9,629	－ 179	－ 1,570	1,920
合 計	－ 126,241	154,825	48,566	53,192

【集計範囲】不二サッシ(株) 千葉事業所

※ (－) の付いた値は増加を示しています。

エネルギー使用量内訳

エネルギー	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
電気(MWh)	45,690	44,255	46,816	47,341
LPG(t)	2,725	1,966	1,959	1,690
重油(kl)	1,309	1,087	0	0
ガソリン(kl)	158	166	179	174
軽油(kl)	26	25	26	28
灯油(kl)	23	9	8	0.5
都市ガス(千m³)	－	－	1,148	1,400
環境負荷総量(t-CO ₂)	32,992	31,666	32,311	31,652

【集計範囲】

不二サッシ環境マネジメントシステム導入主要4サイト(本社、東京、千葉、関西)

※ 2016年度より重油を都市ガスへ変更

環境負荷削減量(CO₂換算)単位: t-CO₂

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
環境保全未対策時の環境負荷総量	33,885	30,483	31,781	31,921
環境負荷総量	32,992	31,666	32,311	31,652
環境負荷削減量	893	－ 1,183	－ 530	269

【集計範囲】

不二サッシ環境マネジメントシステム導入主要4サイト(本社、東京、千葉、関西)

※ 環境保全未対策時の環境負荷総量:

2002年度の原単位(2,116.9t-CO₂/千t)×当該年度の押出生産量(千t)

※ (－) の付いた値は増加を示しています。

マテリアルフロー

INPUT

電 気	47,341 MWh
都市ガス	1,400 千m³
ガソリン	174 kl
軽 油	28 kl
灯 油	0.5 kl
LPG	1,690 t
水	81.6 万t (内、地下水) 2.3 万t
アルミ	15,079 t



OUTPUT

大気系への排出 31,652 t-CO₂

水系への排出 81.6 万t

産業廃棄物 6,149 t

一般廃棄物 61.8 t

製品品質・安全への取り組み

不二サッシグループ 品質保証体制

基本方針

コンプライアンス経営に基づいた安心、安全で地球環境に優しい商品づくりを通して、グループ全体で顧客満足に徹し、会社業績の貢献に向け邁進する。

不二サッシグループ 製品安全行動指針

不二サッシグループは、コンプライアンス経営の一環として、製品安全を経営上の責務と位置づけ、お客様に安心、安全な製品をお届けするために、グループ全体で製造・販売する製品の安全確保に努め、社会に貢献し、信頼される企業となるよう積極的に取り組んでいます。

WEB 詳細は【トップ> 企業情報> 製品安全行動指針】

2017年度活動実績

品質管理活動報告

ISO9001・JIS取得状況

不二サッシグループでは、各生産拠点でISO9001およびJISマーク表示制度を取得するとともに、それに則った品質マネジメントシステムを構築し、グループ全体で品質活動の取り組みを強化し、品質レベルの維持向上を図っています。

取得工場一覧 ●：2015年度版への期限内移行完了

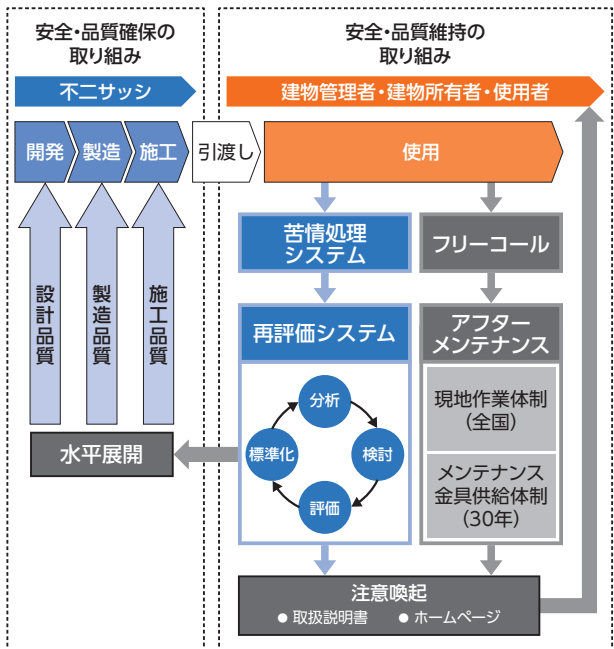
取得者／製造工場	ISO9001	JISマーク表示制度
不二サッシ(株)	●	○
千葉工場	●	○
技術本部	●	○
グループ会社		
北海道不二サッシ(株)	●	○
しらたか不二サッシ(株)	○	○
不二サッシリニューアル(株)	●	○
日海不二サッシ(株)	●	○
関西不二サッシ(株)	●	○
(株)不二サッシ九州	●	○
(株)沖縄不二サッシ	○	○
FUJISASH PHILIPPINES,INC.	○	○
不二ライトメタル(株)	●	○
本社工場	●	○
東日本事業部	●	○

中央規格委員会(5月)、品質管理委員会(四半期)の開催を通じて、品質情報、改善情報を共有し、FSK規格等の品質基準策定につなげました。また、不二サッシ版品質マニュアルに基づく、グループ内の品質マネジメントシステム(QMS)の2015年版への移行状況を確認しました。

CS推進活動報告

苦情処理対応

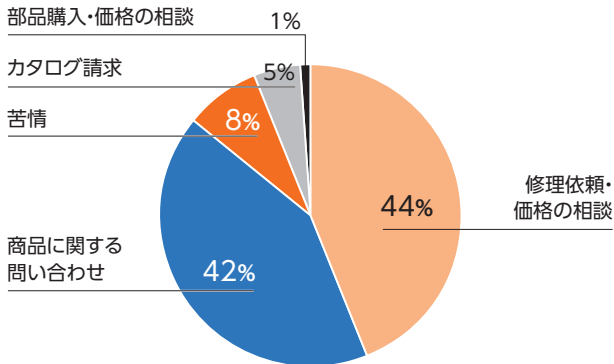
お客様からの苦情・クレームは担当拠点(支店、営業部門)が受け付け、調査、対策を協議し、対応します。苦情・クレーム対応の情報は、苦情処理システムで品質保証部が受け付け、改善が必要な事象については、「再評価システム」で分析、検討、標準化を行ない恒久対策を講じます。これらの情報や対策は、各部門の情報ツールを通じて水平展開し、再発防止につなげています。また、新商品を開発する際の確認項目として用いられています。



お客様相談窓口

お客様からのフリーダイヤルで商品問い合わせ、修理部品の購入、メンテナンス依頼に関する問い合わせが寄せられた場合、迅速な対応をするため、在住エリアを認識し、直接、担当地域の窓口につながるシステムを採用しています。

2017年度「お客様相談窓口」受付内容の内訳



TOPICS

「平成29年度 第11回 製品安全対策優良企業表彰 優良賞」を受賞



不二サッシ株式会社は、経済産業省が主催する、平成29年度「第11回製品安全優良企業表彰」において、大企業 製造・輸入事業者部門の優良賞(審査委員会賞)を受賞しました。

製品安全優良企業表彰(PSアワード)とは、製品安全に積極的に取り組んでいる製造事業者、輸入事業者、小売販売事業者、各種団体をそれぞれ企業単位ではなく広く公募し、厳正な審査の上で、「製品安全対策優良企業」として表彰するもので今年で11回目となります。

不二サッシグループは、コンプライアンス経営の一環として、製品安全を経営上の責務と位置づけ、お客様に安心、安全な製品をお届けするために、グループ全体で製造・販売する製品の安全確保に努め、社会に貢献し、信頼される企業となるよう、積極的に取り組んでいます。

表彰の目的

(経済産業省 製品安全対策優良企業表彰WEBサイトより抜粋)

「製品安全文化」の定着を図り、製品安全が持続的に向上していく社会づくりをめざしています

これまで、身の回りの製品が原因となった事故が数多く発生しており、製品安全に対する社会の要求は高まってきています。そのため企業は、製品の安全性を確保するために、安全な製品の製造・販売や消費者への情報提供が不可欠なものとなっています。このような中で、本表彰では、企業における製品安全に対する意識の向上と、事業活動や消費生活において製品安全を重要な価値として位置付ける「製品安全文化」の定着を図り、製品安全が持続的に向上していく、安全・安心な社会をつくることを目的としています。

受賞のポイント

● 緻密な検証試験に基づく社内基準の確立

公的基準のない特殊用途のサッシの安全性確保に向けて、使用環境・使用者の攻防に関する情報収集に加え、意図的な壊され方まで検討したうえで、求められる仕様・性能及び試験方法について、検証試験を繰り返しながら、データを採取・蓄積し、自社独自の基準の設定や試験方法の開発を行っている。これらの基準は関係部門による複眼的な評価を経て、「技術指針」、「販売マニュアル」を作成し標準化を図っている。

● 施工業者と連携した安全確保に向けた取り組み

施工業者をメーカーが代理店を介さず一元管理することで、製品の組立て・施工時の安全性の担保を確保している。全国11ブロックごとに施工業者からなる共済組織を組成し、同組織を通して、施工時における安全性確保のための教育・研修や同社拠点の施工管理者による現場の巡視(安全パトロール)、技術情報の提供や施工事例からフィードバック、会員間の情報共有を目的にした月1回ペースの「工事共済安全協議会」を行なっている。

● 施工後の安全確保に向けた取り組み

取扱製品のライフサイクルが長期期間にわたることから、「不二サッシ製品年表」により1958年以降に生産した製品に関する情報を管理し、施工後に安全上の不具合が発生した場合に、生産時期が特定できる体制を整えるとともに、メンテナンス金具の30年供給を可能にするなど、製品引き渡し後の長期使用を想定したメンテナンス体制を構築し、運用している。

VOICE・吉田 敬彦(写真右端)

不二サッシ(株) 品質保証部

不二サッシグループは、アルミサッシやカーテンウォールをはじめとする建材事業だけにとどまらず、家電製品や事務機などに使用されるアルミ型材の製造・販売をはじめ、都市ゴミ焼却施設のプラント事業、防災・備蓄倉庫のユニットハウス事業、LED事業など、幅広い分野で事業展開しています。さらに、経営理念である「不二サッシは窓から夢をひろげたい」のもと、「私たちはお客様との絆を大切にします」「私たちは心をこめた商品を世に出します」「私たちは活力あふれる気風づくりに努めます」を行動規範として、製品安全に取り組んでいます。今回の受賞を製品安全活動の新たな一歩とし、また、審査を通じて確認できた新たな気づきを糧に、これからも安全・安心な製品をお届けするために、グループ一丸となり、製品安全の確保に努めてまいります。



不二サッシの活動

シートベルトキャンペーンへの参加

千葉工場

不二サッシ千葉工場は市原交通安全協会に加入し、交通安全の啓蒙活動であるシートベルトキャンペーンや、自転車交通マナー等の指導イベントにも積極的に参加しています。また、ほとんどの従業員が自動車やオートバイを使って通勤していることから、市原警察署の交通係長による交通安全講話会を定期的に開催して交通安全に対する意識を高めています。



従業員対象家族見学会

千葉事業所

千葉事業所では、2014年8月から毎年、夏休みに社員の家族を対象とした家族見学会を開催しています。それまでも地域貢献活動として、地元の小学生や地域コミュニティの親子を工場に招待していましたが、家族の方に職場や実際に働く姿を見ていただくことは、会社との絆が深まり仕事の活力にもなると大好評です。仕事場の見学だけでなく、社員食堂で一緒に食事をしたり、きゅうりやミニトマトの収穫体験をしたことも忘れられない思い出になっているようです。



押出工場を見学

遮音試験を体験
窓の向こうで音の聞こえ方を確認

できたばかりのショールームを見学



きゅうり・ミニトマトの収穫体験

グループ会社の活動

普通救命講習Ⅰ受講

協同建工

協同建工では、社員全員が大和市消防本部が主催する普通救命講習Ⅰを受講し、救命技能を有しています。講習では主に心肺蘇生法とAEDの使用方法を学習します。当社は大和建設業協会の一員として、大和市と協会が締結する「災害応急対策の応援に関する協定」に加わり、災害時には応急復旧工事に人や資材を提供する役割を担っています。救命技能は、災害の発生時や工事作業現場での緊急時に役立つものと考えています。

講習会風景
青い制服が講師の消防署員の方

高槻市消防本部との合同防災訓練実施

関西不二サッシ

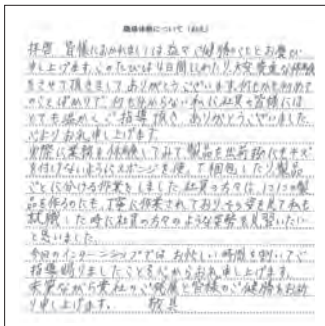
高槻市消防本部から、消防職員の救助技術向上の一環として、企業の建物を利用した訓練の依頼があり、実践さながらの訓練は従業員の防災意識の向上にもつながるとの判断から、毎年3月の春季全国火災予防運動期間中に合同防災訓練を実施しています。近年、関西における台風、地震の被害が増加、いつ起きてもおかしくないとされる南海トラフ地震への懸念もあり、従業員の命を守る大変重要な取り組みとなっています。



地域学生の人材育成

不二サッシ九州

卒業後の進路に関わらず、日本国内の製造業におけるものづくりの担い手でもある地元生徒さんたちの人材育成の一助になればとの思いから、近隣の高等学校よりインターンシップを受け入れています。また、こうした取り組みは「人」を育てる面など、当社従業員のコミュニケーション能力のスキルアップにもつながっています。



生徒さんから届いたお礼状

「アルミソーラー架台」の開発で工業大賞受賞

不二ライトメタル

再生可能エネルギーとして注目を集め、急速に普及してきた太陽光発電ですが、市場ニーズは売電から発電事業や土地の有効活用へと変化し、初期投資を抑えるため土地の造成を最小限にとどめた斜面への設置ニーズも多くなっています。そのため太陽光パネルの取り付けには、複雑な傾斜面や凹凸を吸収し、アレイ面を均一にできる架台が求められます。

不二ライトメタルのアルミソーラー架台は、任意の傾斜方向と基礎の位置ズレに対応する3軸回転に加え、不陸調整機能で凹凸を吸収します。特別な工具や難しい調整の必要がなく、現場での施工も容易で設置コストも抑えられます。このアルミニウムの特性を最大限に活かした製品開発が評価され、一般社団法人熊本県工業連合会より熊本県工業大賞を受賞しました。



表彰状と盾

熊本県の「ブライ企業」に認定

不二ライトメタル

熊本県は県内企業の労働力確保、県内就職促進につなげるため、2016年2月より従業員の労働環境や処遇向上に優れた企業をブライ企業*として認定しており、不二ライトメタルは2017年9月に認定を受けました。

認定企業のメリットは、(1)ブライ企業の名称やくまモンのロゴマークが使用でき、県が新聞、雑誌、専用ガイドブック、県庁ホームページへの掲載等、積極的に企業PRを行い、(2)ブライ企業のみを集めたPRイベントの開催、学校進路指導教員との情報交換会等、求人面からの支援があります。当社はこの制度を最大限に活用し、優秀な学生の確保を推進していきます。

*ブライ企業：働く人がいきいきと輝き、安心して働き続けられる企業で、以下の4つを基本的な要件としている。

- 従業員とその家族の満足度が高い
- 地域の雇用を大切にしている
- 地域社会・地域経済への貢献度が高い
- 安定した経営を行っている



2017年10月2日認定式での小野熊本県副知事と山田社長



熊本県長洲町との企業立地協定締結

不二ライトメタル

不二ライトメタルは、2017年8月17日、「医療用マグネシウム合金製生体吸収性スキャフォールド*の臨床に向けた研究開発設備の増設」にあたり、長洲町と企業立地協定を締結しました。今回の増設により、これまで基礎研究を重ねてきた医療用マグネシウム合金開発の成果を臨床段階へ移行することになり、医療分野における本格的な事業展開へ向けた大きな一歩となります。

左より) 長洲町長 中逸様
不二ライトメタル社長 山田
熊本県商工観光労働部長 奥園様

事業計画概要

事業内容：医療用マグネシウム合金製
生体吸収性スキャフォールドの臨床に向けた
研究開発設備の増設
投資金額：300百万円
人員体制：今回の設備の増設により、従業員を6名増員
事業計画：装置の導入／2017年8月～2018年3月
装置の設備稼働／2018年4月

*生体吸収性スキャフォールド：人体の血管等に挿入・拡張することで血液等の流動を回復させる医療機器（ステント）のうち、従来の金属型と異なり、生体吸収され血流回復後に溶けてなくなるもの。

「地域未来牽引企業」の認定

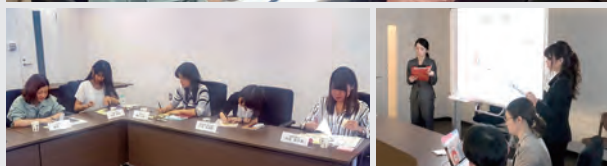
不二ライトメタル

不二ライトメタルは、経済産業省の「地域未来牽引企業」に認定されました。「地域未来牽引企業」とは、地域の特性を活かして高い付加価値を創出し、地域の事業者等に対する経済的波及効果を及ぼすことにより、地域の経済成長を力強く牽引する事業をさらに積極的に展開する企業を経済産業省が認定する制度です。また、この制度に関連する地域未来投資促進法に基づき、「医療用マグネシウム合金製生体吸収性スキャフォールドの臨床に向けた研究開発」事業が、熊本県の「地域経済牽引事業」として承認されています。当社では今後も、地域の経済成長への貢献に努めていきます。



TOPICS

1 女性活躍推進プロジェクト



活動の様子 経営会議での発表(右下)



女性社員をメンバーとする「女性活躍」検討プロジェクトを発足しました。経営理念の行動規範を实践するという趣旨のもとに、働きやすい会社を目指して、それぞれ違う視点から意見を出し合い、経営会議で活力ある気風づくりのためのワーク・ライフバランスをテーマとして、“社内インターンシップ制度*の実施”を提案発表しています。

* 社内インターンシップ制度：在籍部署を変えずに他部署で異なる業務を体験し、能力開発やキャリア形成に役立てることを目的とするもので、2018年7月より運用を開始。

2 明日の不二を考える若手プロジェクト



活動の様子(左) 経営会議での発表(右)

明日の不二を考える
若手プロ

「働き方改革」をテーマに若手社員による検討プロジェクトを発足し活動を行っています。メンバーは自分の意見を伝えることやまとめることの難しさを感じながらも、このプロジェクトから新しい気づきやアイデアが生まれました。“未来型「人」育成計画”(100年企業の先を見据えた意識改革)と“FUJI WHALE PROJECT”(未来へのチャレンジに向けた保育所の開設)の2つを経営会議にて提案発表し、実現に向けて推進中です。

3 しが障害者施設応援企業 認定第1号



メイプル滋賀工場外観(上) 従業員の集合写真(下)

社会福祉法人メイプルは、障害者の就労継続支援を行う事業所として1995年に誕生しました。設立当初から不二サッシ大阪工場(現・関西不二サッシ)の技術指導を受け、面格子、ガラリといった建材製品を製造しています。現在は9名の障がい者の方が不二サッシの社員として勤務しています。滋賀県は2018年4月から、県内の障がい者就労施設等から物品の購入、役務の調達を行う民間事業者を「しが障害者施設応援企業」に認定する制度を開始しました。不二サッシはメイプル滋賀工場への発注実績が認められ、この制度で認定された第1号の民間事業者となりました。

VOICE・高橋 正守様

社会福祉法人メイプル

社会福祉法人メイプルは、支援企業の不二サッシが滋賀県の要請に応えるかたちで福祉工場として開業しました。障がいを持ちながらも働く意欲と能力を持つ人に安定した職場と雇用を提供し、社会の一員としての自立を支援しています。メイプルでは、障害者支援施設、障害福祉サービス事業所等から優先的に調達を行う従来制度「滋賀県ナイスハート物品購入制度」を利用できずにいましたが、2018年4月、新たに「しが障害者施設応援企業認定制度」が創設されました。この機会に、長年にわたりご支援いただいている不二サッシに制度への申請を提言したところ、認定第1号事業者となりました。メイプルとしても大変名誉なことで、感謝するとともにお祝いを申し上げます。引き続き障がい者の社会自立に寄与できるよう努力していきます。



人権の尊重

人権に対する基本的な考え方

不二サッシ行動規範のひとつ「私たちは活力あふれる気風づくりに努めます」は、全社員が一致協力して、お互いに尊重し合い、認め合い、持てる能力を最大限に発揮する社風を築いていくことを示しています。不二サッシは、働きがいのある、ハラスメントのない職場環境づくりを目指しています。

女性活躍の推進

不二サッシでは、女性従業員の個性と能力が十分に発揮できる労働環境を整備するため、2020年度までの行動計画を策定し取り組みを進めています。

関連情報> P24 TOPICS 1

女性の活躍を推進するための一般事業主行動計画

女性がその能力を十分に発揮できるようにするため、次のように行動計画を策定する。

1. 計画期間

2016年(平成28年) 4月1日から
2020年(平成33年) 3月31日

2. 当社の課題

- (1) 女性の採用数が少ない(特に専門職種)
- (2) 正社員と同等の業務を担っている非正社員の雇用環境改善が進んでいない

3. 計画内容

目標1 採用者に占める女性割合を30%以上とする

〈取組内容〉

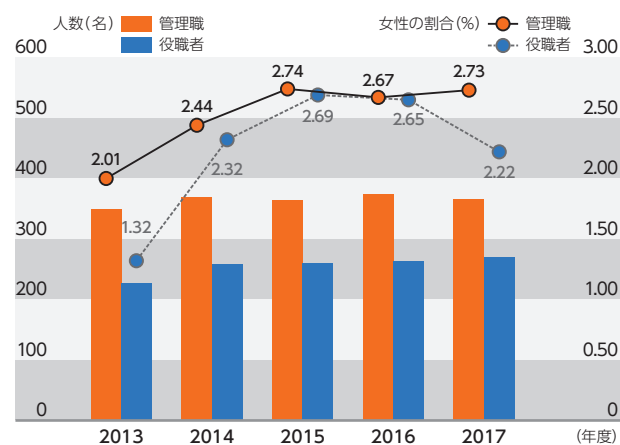
- 求職者に対する積極的な広報(特に専門職種)
- 育児・介護・配偶者の転勤等を理由に退職した社員に対する再雇用制度の導入・利用促進

目標2 非正社員の職種・雇用形態の転換を実施する

〈取組内容〉

- 非正社員の処遇を見直す
- 非正社員を対象とした職種・雇用転換を促進する

管理職・役職者に占める女性の割合

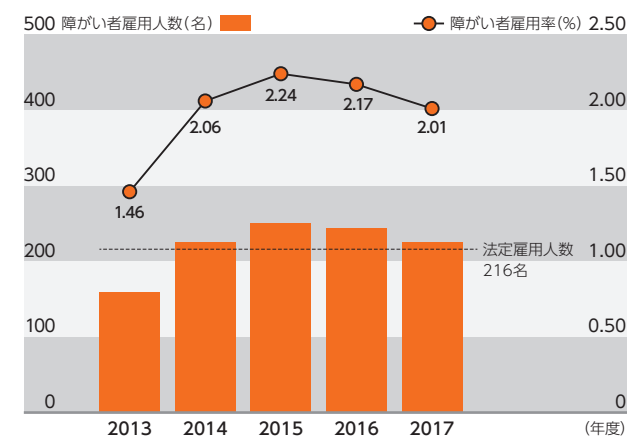


障がい者雇用

不二サッシは企業の社会的責任を果たすために、障がいのある方とない方がともに自然に働ける「ノーマライゼーション」の理念に基づき、社会福祉法人メイプルの運営等を通じて障がい者の雇用、就業について努めています。また、コンプライアンスの観点からも、障がいのある方の活躍に向け全社を挙げて取り組んでいきます。

関連情報> P24 TOPICS 3

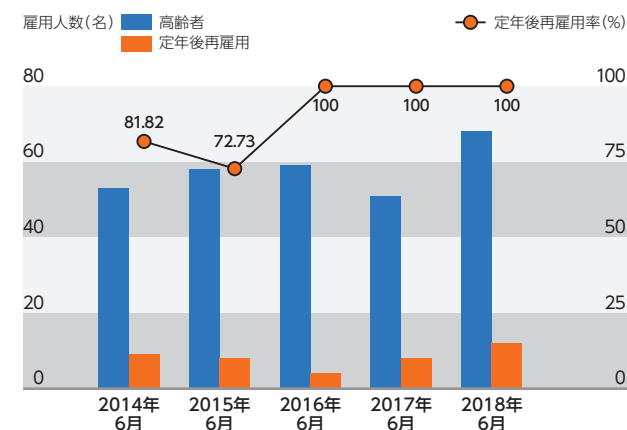
障がい者雇用実績



高齢者の再雇用

高齢者の再雇用は、少子高齢化の急速な進展と、人口減少に伴う労働力不足という中長期的な視点からも重要な課題です。不二サッシは、定年後も継続して勤務できる再雇用制度を導入し、就業機会を確保するとともに、それぞれの経験と知識を活かし活躍する環境を整えています。

高齢者雇用と定年後再雇用の実績



人材育成

人材に対する基本的な考え方

不二サッシは企業発展の原動力は優秀な社員であるとの認識に立ち、次の目的に沿って教育訓練を行っています。

- ① 会社の経営理念と経営方針に則り、会社発展に貢献し、仕事に生きがいを持つ創造的な社員の育成を図る。
- ② 経営および社会情勢や技術革新の進展に伴い求められる能力が変化しても、それに対応できる応変能力のある社員の育成を図る。

各種の教育訓練

- 階層別集合研修
- 職場研修（OJT）
- 自己啓発支援研修
- 海外語学研修教育

関連情報＞ P24 TOPICS 2



新入社員研修（4月）



若手社員研修（3年目）



若手社員研修（4年目）

グローバル人材の育成

不二サッシフィリピン社（フィリピン共和国）に「不二サッシ設計センター」を置き、現地従業員を日本国内で設計研修するなど、現地従業員の設計スキルの向上に努めています。また、優秀な現地従業員を不二サッシに転籍させ、日本国内の事業所で働く環境を整備しています。



日本語勉強会
毎週火曜日に社外講師をお招きして勉強会を開催しています。皆さん真剣です。

VOICE・グローバル社員

VALENCIA RONNEL BARIA
パレンシア・ロネル・バリア

2006年新川崎で3ヵ月間、2011年に千葉工場で1年間の研修を経て、2014年に設計業務部 設計業務グループに配属され、色々な経験を積むことができました。現在は海外営業部 海外設計グループで海外物件の実施設計担当として頑張っています。不二サッシは特有の習慣や伝統を持つ外国人労働者に対して理解があり、クリスマスシーズンなどは、有給休暇を取得し母国の家族たちと一緒に過ごすことができます。今後も不二サッシに必要とされ、未永く働けるよう貢献していきたいと思っています。



PANGILINAN CHRISTIAN REYES
パンギリナン・クリスチャン・レイエス（写真右）

2014年に日本で3ヵ月間の研修を受け、2017年に不二サッシフィリピン社から東京支店 設計一部 設計4グループに配属されました。業務は実施設計の作図です。社内では愛称のイアンと呼ばれています。勉強会のおかげで日本語検定に合格しましたが、日本語スキルはまだまだ。でも上司や同僚たちは親切に根気良く指導してくれています。できる限り長く働いて会社に貢献できるように頑張りたいと思います。



EMPENO MARVIN REY MALICSI
エンペノ・マルビン・レイ・マリクシ（写真左）

2011年に不二サッシ千葉工場で1年間の研修を受け、2014年に不二サッシフィリピン社から東京支店 設計一部 設計3グループに配属されました。業務は実施設計の作図が主体ですが、系列工場での製品検査に立ち会うなど、幅広い業務に携われるようになってきました。日本は大好きですし、仕事内容が私に合っていると感じています。私の日本語能力では会議などでの発言に不安はありますが、勉強会でスキルアップしながらこれからも日本で働き続けたいと思います。

教育・キャリア支援

社員の自己啓発意欲を喚起し促進する目的で、通信教育の紹介や受講料の援助を行っています。また、公的資格取得者には毎月手当を支給しています。

通信教育受講者数の推移 単位：名				
分類	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
階層別	53	54	54	54
自己啓発	9	15	13	15
部門長推薦	16	25	27	20
全体	78	94	94	89

適材適所の人材配置

年1回、従業員の考え（業務を行う上での自己評価、職場について感じていること、自らのキャリア形成・能力開発のために今後やってみたい職務等）を自己申告書に記録し、それをもとに上司と話し合う制度を設けています。自己申告書は、従業員の適正配置、能力開発、教育指導などの参考にします。

公正公平な人事制度

職能資格制度に基づいて従業員の能力、成果、意欲を公正に評価することで、各人の能力と資質、士気を向上させ、適正な人事上の処遇（異動、配置、昇格、昇給、賞与、教育訓練等）につなげています。



新規管理職研修



部門長研修

ワークライフバランス

介護支援

2年を経過すると消滅する年次有給休暇を、私傷病療養および家族の育児・介護・看護の目的に限り、さらに1年間利用することができる「有給休暇積立制度」を設けています。

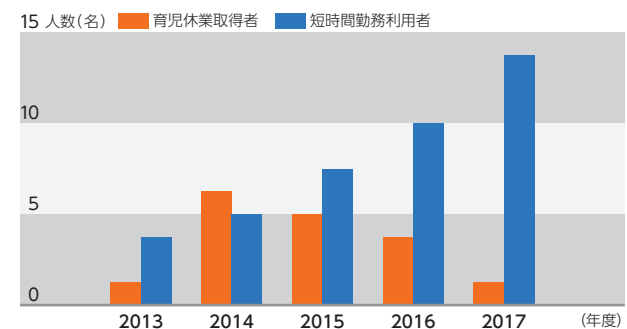
柔軟な勤務制度

職種により在宅業務ができる制度を設けています。自宅で働きながら、会社とはパソコンとインターネットを使ってコミュニケーションをとっています。

仕事と育児の両立

育児休業の終了後、職場復帰し小学校第1学年の夏季休業が終了するまでの期間は、短時間勤務ができる育児援助制度を導入しています。

育児支援制度利用者数の推移



労働安全衛生

労働安全衛生に対する基本的な考え方

経営トップの「安全衛生は全てに優先する。安全衛生なくして生産性、品質の向上無し」という決意のもとに、決めたことは守り、守らせて、不安全状態、不安全行動を完全排除する職場にすることを安全衛生管理の基本方針としています。

従業員の健康増進

不二サッシは不二サッシ健康保険組合と協同し、毎年実施する定期健康診断や特定保健指導等により、従業員の健康状況を把握し、疾病の早期発見と予防のための適切な管理を行なっています。なかでも、日本人の2人に1人がなると言われる「がん」の対策として、早期発見、早期治療のための「人間ドック」「乳がん検診」「前立腺検査(PSA)」の受診補助を実施しています。また、健康診断結果をもとに、再受診の勧奨や特定保健指導などのフォローも行っています。

2017年度受診状況等

前立腺検査(PSA)
受診率
約93%
対象者：333名
受診者：310名

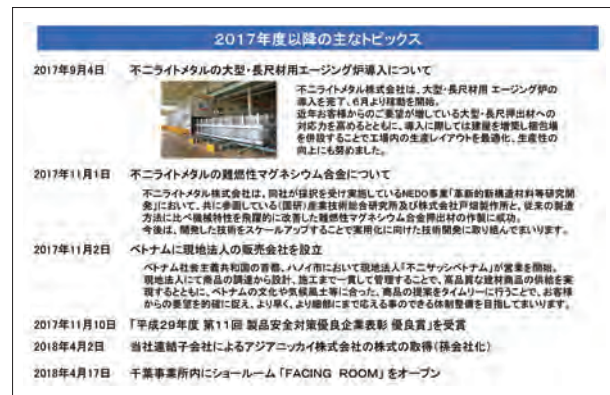
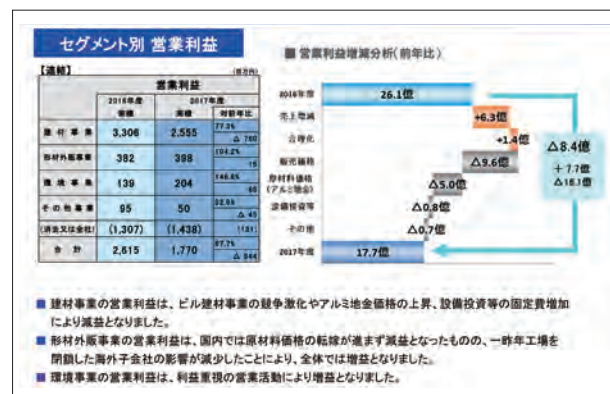
乳がん検診
受診率
約71%
対象者：166名
受診者：118名

人間ドック補助
利用者
本人33名
(家族10名)

ステークホルダーとのコミュニケーション

決算説明会

当社は、第2四半期と決算時にマスコミ各社を対象に決算説明会を開催しています。2018年5月10日、東京証券取引所で2017年度決算を発表し、同所内記者クラブで執行役員管理本部長が記者会見を行いました。その後、社長以下関係役員が出席して、ホテルメルパルクTOKYOで「決算発表および懇親会」を開催し、業界紙・新聞記者との活発な意見交換が行われました。また、トピックスとして、「平成29年度 第11回 製品安全対策優良企業表彰 優良賞」受賞や、当社連結子会社によるアジアニッカイ株式会社の株式取得（孫会社化）などを紹介しました。決算説明会の資料は、当社ホームページに公開し、株主をはじめとするステークホルダーの皆様への適正な情報開示に努めています。



決算説明資料

株主総会

2018年6月28日川崎日航ホテルにて第37期株主総会を実施し、当日は110名を超える皆様にご来場いただきました。株主の方に会社の状況をより深く知っていただくため、会社紹介等の動画を放映しました。

本総会の決議事項

剰余金の配当の件・・・当社普通株式1株につき1円50銭（昨年より50銭増配）

質疑応答では株主様から、マグネシウム関係の他、リニューアル事業、株価対策などの質問があり、吉田社長および担当役員から詳細な説明を行いました。

その後、議案を審議し賛成多数で可決しました。

第37期株主総会後に株主通信を発行し、決議の内容、会社トピックスと中期経営計画の概要および進捗状況を株主の皆様にご報告しました。



株主総会の模様



株主通信

共済会との連携

不二サッシ工事安全大会

「不二サッシ工事共済会」は、不二サッシの基幹協力会社で組織し、254社861名の会員が全国11支部に分かれて活動しています。災害撲滅を目的として安全意識の高揚を図るために、毎年6月全国8カ所で、東京、関東、横浜、リニューアルの各支部が合同で安全大会を開催しています。安全衛生管理実施計画の説明や外部講師による安全講話を実施し、1年の災害ゼロを誓っています。また、技能者が年々減少している中、優秀技能者に対して少しでも魅力ある職種および技能者になっていただくことを願い、表彰を実施し毎年大きな成果をあげています。

優秀技能表彰
企業の部
28社

優秀技能表彰
個人の部
24名

永年勤続表彰
5年 10年
20年 30年



九州支部安全大会



日海不二サッシ安全大会



関東4支部合同安全大会

インターンシップ

不二サッシ“街歩き体験型インターンシップ”を開催

2017年度よりインターンシップに新しい形を取り入れ、東京および大阪でそれぞれ開催いたしました。今回参加した学生の6割近くが、不二サッシという社名を「はじめて聞いた」「どこかで聞いたことがある程度」と回答。参加した学生からは、サッシメーカーの仕事内容はあまり想像できていなかったが、今回参加してみて理解することができたといった意見や、フィールドワークは他の会社にはなく新鮮だった、社員の方々の温かさを感じたなどの意見が数多くみられ、インターンシップが不二サッシの知名度向上にも貢献していることが分かりました。



フィールドワーク風景



G マネジメント

コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスの基本的な考え方

当社のコーポレートガバナンスに関する基本的な考え方は、当社グループ全体の企業価値の向上と強固な経営基盤の構築を通じて、お客様に信頼され、社会に貢献し続けるという経営基本方針を実現するため、責任ある経営体制の確立と、経営の透明性向上並びに経営に対する監視・監督機能の強化に努めることで、ガバナンスの強化を図っています。

基本原則1 株主の権利・平等性の確保
当社は、株主の権利確保、その適切な行使、および株主の平等性を確保すべく対応いたします。

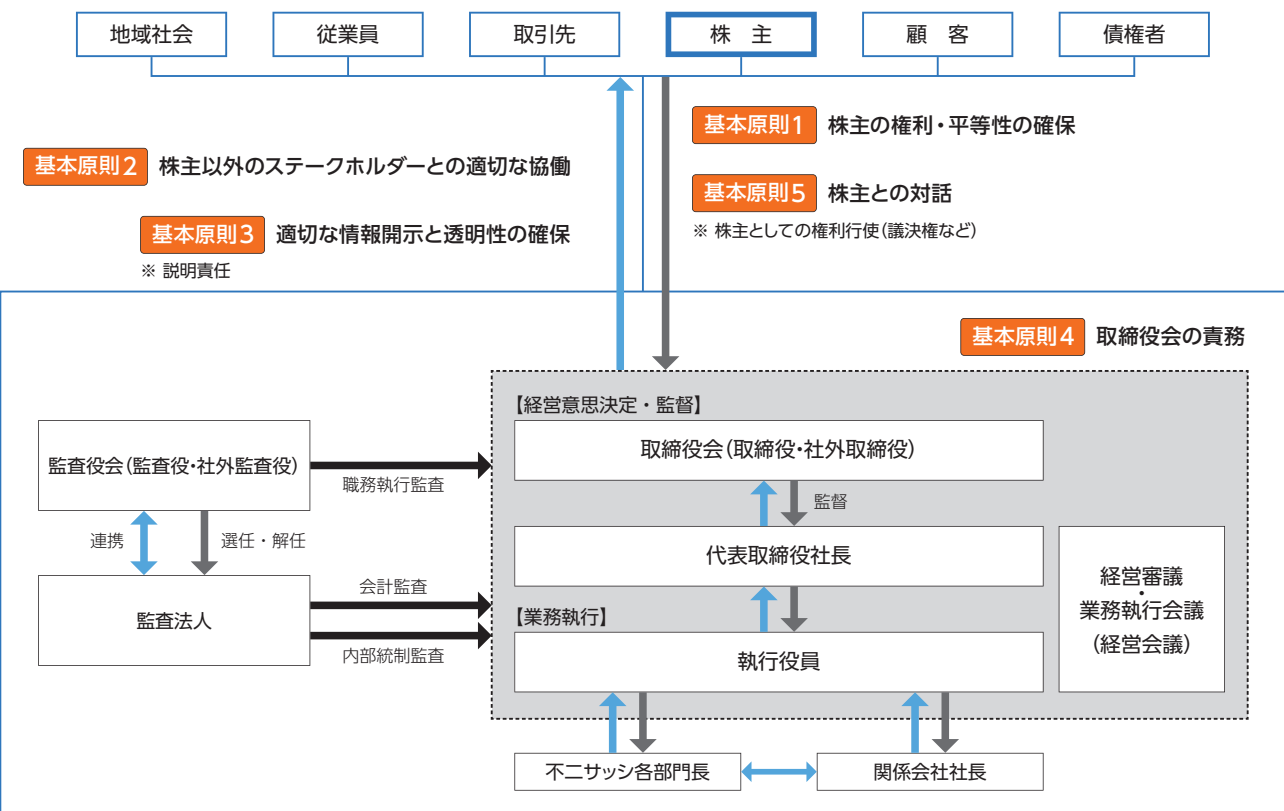
基本原則2 株主以外のステークホルダーとの適切な協働
当社の持続的な成長と中長期的な企業価値の創出は、従業員・顧客・取引先・債権者・地域社会をはじめとする様々なステークホルダーによるリソースのご提供やご貢献の結果であることを十分に認識し、これらのステークホルダーとの適切な協働に努めてまいります。

基本原則3 適切な情報開示と透明性の確保
当社は、株主や投資家等との建設的な対話が可能となるよう、会社の財政状態・経営成績等の財務情報のほか、経営戦略・経営課題、リスクやガバナンスに係る情報等の非財務情報に関して、適宜解かりやすい情報提供に積極的に取り組んでいきます。

基本原則4 取締役会の責務
取締役会は、株主に対する受託者責任・説明責任を踏まえ、会社の持続的成長と中長期的な企業価値の向上を促し、収益力・資本効率等の改善を図るため、独立した客観的な立場から、取締役および執行役員に対する実効性の高い監督を行います。

基本原則5 株主との対話
当社は、株主との建設的な対話を促進するために、会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指したビジョンを策定し、当社の経営方針を分かりやすい形で明確に説明し、株主の理解が得られるよう努めています。

コーポレート・ガバナンスの全体像と基本原則関係



コーポレート・ガバナンス体制

当社は、会社法上の機関設計として、監査役会設置会社を選択しており、監査役会は、適法性、妥当性の面から取締役の職務執行状況の監査を行っています。

取締役会は、経営上の重要事項の決定と業務執行の監督を行っています。当社では、監督機能の強化を図るべく社外取締役を選任しています。

また、執行役員制度を導入し、経営と業務執行を分離して機能・責任の明確化を図っています。社内の意思決定機関として、取締役、執行役員などで構成される経営会議を毎月1回以上開催し、意思決定の迅速化を図っています。

なお、社外取締役、社外監査役からは、四半期毎に関係役員と意見交換会を実施し、社外役員の方の意見を取り入れる機会を設けガバナンス機能を強化しています。さらに年に1度、取締役および監査役に対して、取締役会に対するアンケートを実施し、取締役会の実効性に関する分析・評価を行い、経営上重要な事項の意思決定機関として機能していることを確認しています。

コンプライアンス体制

内部統制の仕組みを構築

当社は取締役会で決議した「内部統制システムの整備に関する基本方針」に基づき、内部統制システムを整備して運用をしています。各体制の整備および運用状況については継続的に調査し、調査の結果を踏まえて、より適切な内部統制システムの構築に努めています。

コンプライアンス意識の浸透を推進

「不二サッシ・コンプライアンス行動規範」「不二サッシ・コンプライアンス行動基準」の社内規定を整備するとともに、コンプライアンスマニュアルを発行し、コンプライアンスへの理解を深め、健全な職務執行を行う環境を整備するため当社グループの役員、使用人等を対象としたコンプライアンステストを定期的実施しています。

セミナーなどの開催

中小企業庁の派遣講師による下請法の勉強会、社内講師によるコンプライアンスセミナーを実施しました。

(1) 下請法勉強会

今年度は、東京・大阪・愛知・千葉・宮城・熊本の各拠点で、中小企業庁から派遣された弁護士による下請法の講義を行いました。

参加人数 計199名



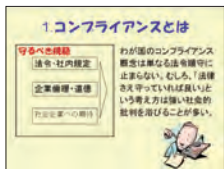
各拠点、関係会社から199名が参加し、建設事業ガイドラインに基づく下請法の解説や事例の講義を受け、従業員の下請法に関する意識が高まりました。

実施日	地域	参加人数	参加拠点
2017/12/11	大阪	31名	大阪支店、関西不二サッシ、不二サッシ関西、奈良不二サッシ販売
2017/12/13	東京	22名	東京支店、管理・生産・営業本部
2017/12/14	熊本	22名	不二ライトメタル
2017/12/19	愛知	15名	名古屋支店、日海不二サッシ、不二サッシ東海
2018/2/19	東京	31名	東京・横浜・関東支店、不二サッシ関東、不二倉庫、協同建工
2018/3/7	宮城	15名	不二サッシ東北、しらたか不二サッシ
2018/3/20	千葉	63名	千葉工場、不二ライトメタル、本部・東京・関東支店

(2) コンプライアンスセミナー

主に管理職を対象として、東京・横浜・大阪・名古屋・千葉の各拠点、関係会社246名が集まり、事例をもとにコンプライアンスに抵触した場合の影響や原因分析・再発防止等の教育を行いました。

参加人数 計246名



セミナー資料

実施日	地域	参加人数	参加拠点
2017/11/9	熊本	39名	不二ライトメタル
2017/11/15	千葉	63名	千葉工場、不二ライトメタル
2017/12/7	東京	27名	東京支店、管理・生産・営業本部
2017/12/11	大阪	35名	大阪支店、関西不二サッシ、不二サッシ関西、奈良不二サッシ販売
2017/12/19	愛知	43名	名古屋支店、日海不二サッシ、不二サッシ東海
2017/12/21	神奈川	12名	横浜支店
2018/2/23	埼玉	19名	不二サッシ関東
2018/3/9	神奈川	8名	協同建工

ホットライン

当社では、法令違反や社内規定違反を相談する窓口として、内部通報制度である「企業倫理ホットライン」を設けています。社内報に「企業倫理ホットライン」の通報先を掲出するなど社内周知を行い、第三者機関の窓口を利用することで、通報者の保護と適正な処理を行い、問題の早期発見と解決を図っています。また、その運用・通報状況について定期的に取締役会に報告を行っています。

不二サッシ株式会社

<http://www.fujisash.co.jp/>

本 社 〒 212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田 1 丁目 1 番 2 号
新川崎三井ビルディング
TEL 044-520-0034

東 京 本 部 〒 141-0031 東京都品川区西五反田 4 丁目 32 番 1 号
TEL 03-6867-0770

内容に関するお問い合わせ先

総合企画部 TEL:03-6867-0777 E-mail:customer@fujisash.net



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。